



私の幼少時代、青春時代を育んでくれた山河は今も鮮やかに
 臉に浮かび、昨日のここのように当時のことが蘇って参ります。
 私の知る亀山町が亀山市になり、
 新たな発展をとげていらっしゃることに喜びを覚えます。
 守るべきものと変わりゆくものが調和して、
 これからも益々、市民の皆様が文化の香り高い、
 豊かな未来を創出されますことを願っております。

※亀山市市制施行10周年記念 市勢要覧より

亀山市名誉市民

彫刻家

中村 晋也

作品介绍「ふるさとあい」連載開始

亀山市名誉市民である彫刻家の中村晋也さんの作品を、広報かめやま毎月1日号で連載して紹介します。市民の皆さんが芸術に関心を持つとともに理解を深め、市の文化芸術の振興と文化活動の高まりに繋げていくために、また偉大な功績を有する氏を輩出した亀山に誇りと愛着を感じてもらうための契機として作品を紹介していきます。

経歴(一部抜粋)

大正15(1926)年 三重県に生まれる

2歳から22歳まで三重県鈴鹿郡井田川村(現亀山市)に在住
 旧制神戸中学校(現神戸高校)から東京高等師範学校(現筑波大学)へ進学
 卒業後は鹿児島を拠点に精力的に作品づくりに取り組む

昭和41(1966)年 翌年までフランス留学、昭和44年から翌年まで再度留学

昭和47(1972)年 鹿児島大学教授に就任

昭和59(1984)年 第16回日展出品作「焦躁の旅路」で文部大臣賞受賞

昭和63(1988)年 第19回日展出品作「朝の祈り」で日本芸術院賞受賞

平成19(2007)年 文化勲章受章

平成21(2009)年 亀山市名誉市民受賞

平成27(2015)年 奈良薬師寺西塔内に釈迦八相像の果相像を奉納
 現在、東塔に納める因相像を制作中



亀山市名誉市民受賞(平成21年)



「釈迦八相像」制作の風景(平成28年)

中村晋也さんと亀山市

ブロンズ像「わたしの宝物」
 亀山市(文化会館)へ寄贈

平成22(2010)年10月16日に除幕式が盛大に行われ、文化力の発信拠点である市文化会館に設置されました。この像は、中村晋也さんが平成7(1995)年に制作をされた秘蔵の作品で、市文化会館を訪れる多くの人の心をやさしく包み込んでいます。



中村晋也氏 寄贈「わたしの宝物」除幕式

「あいあい」で
 作品展を開催

平成22(2010)年11月2日から29日まで、あいあい「亀山市名誉市民 中村晋也作品展」が開催されました。作品展には、中村晋也さんの代表作品43点が展示され、作品を一目見ようと多くの人々が市内外から訪れました。

